

宮崎県 在京経営者会議だより

発行責任者／山中 祥弘 〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 学校法人メイ・ウシヤマ学園内
TEL 03-3408-5020/FAX 03-3423-6092



会長挨拶

宮崎県在京経営者会議 会長 山中 祥弘

2年におよぶコロナ禍に耐え、ようやく「with コロナ」の時代に入ろうとしています。これからは、コロナ禍で培ってきた宮崎県在京経営者会議の創意工夫を、より本格的に展開する時を迎えました。

われわれがコロナ禍の下で進めたのは、「ホームバウンド」の事業です。外に出ていく「アウトバウンド」や、内に取り込む「インバウンド」だけではなく、われわれが故郷・宮崎から学び、宮崎との結びつきを強めていく活動なのです。

昨年7月には定期総会を開催、10月にはこれまでと形を変え、ハリウッド・プラザで「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」を催しました。宮崎の魅力を理解し、宮崎の農業などの「6次産業」化を進めようという活動の一環です。

ビジネス・フォーラムでは、宮崎県出身者で世界的にも素晴らしい活動をしている人がいることを再認識し、首長の話がうかがって、いまの宮崎が思っていた以上に変化していることを痛感しました。「みやざき観光文化検定」は、故郷の過去と現在を学ぶという試みです。

「ホームバウンド」の事業には、われわれの中の結びつきだけではなく、自治体や産業団体など各方面とのさらなる連携が必要です。昨年は「アンダー50の会」が発足、本格的な活動をスタートさせましたが、今後とも宮崎との縦・横・斜めの重層的な活動を続けていこうと考えています。

いまこそホームバウンド——宮崎から学び、宮崎を活性化する「地域再発見」と「地域創生」というホームバウンドの活動をこれからさらに強力に進めていきましょう。



知事挨拶

宮崎県知事 河野 俊嗣

宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、首都圏における本県出身者の就職支援や文化・観光・物産のPRなど、県政の推進に温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年は、宮崎県が再置された1883年から数えて、140年目の節目の年となります。「WBC侍ジャパン合宿」「G7宮崎農業大臣会合」「宮崎県人会世界大会」等の開催を好機と捉え、「おいしさ日本一」の宮崎牛をはじめ本県の多彩な魅力を国内外に発信し、ブランド力を高めてまいります。そして、インバウンドを含む観光振興や輸出促進など、世界の活力を取り込むグローバル戦略の展開を通じて経済成長につなげてまいります。

県では、令和5年度の予算編成に当たり、「コロナ禍・物価高騰等からの再生・復興」「中山間地域の暮らしの維持・活性化」「経済・産業成長の促進」「次世代育成、若者・女性活躍の推進」「安全・安心な県土づくりの推進」という5つの視点から施策を構築することとしています。

具体的には、長期にわたり人口減少が進行する中、その抑制に向けて、市町村等と連携しながら、持続可能な地域交通網の実現、産業や医療・介護・福祉を支える人材の確保など、県民が将来にわたり住み慣れた場所で安心して暮らせる環境づくりに取り組むこととしております。

加えて、本県の基幹産業である農林水産業の成長産業化やフードビジネスの振興、中小企業等の成長を促進し、時代の変化に対応した力強い産業構造を築くとともに、デジタル社会やゼロカーボン社会へ向けた取組を加速し、地域や産業を支える人材の育成などにも取り組むこととしております。

今後とも、皆様の声に真摯に耳を傾け、安心と希望あふれる宮崎県づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。結びに、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶といたします。

令和4年度 第24回定期総会

総会の部は・令和3年度事業報告並びに収支決算の承認・令和4年度事業計画並びに収支予算案の承認の件・役員構成についての議事につきまして全て承認、可決されました。

懇親会の部では今年も、ご来賓の宮崎県知事河野俊嗣様からリモートでのご挨拶を賜り、その後宮崎県東京事務所長の丸山裕太郎様より乾杯のご発声をいただき、和やかに参加者の皆さんとの懇親を深められました。

令和4年7月1日(金)に六本木ヒルズのハリウッドプラザで開催されました。

会場参加者とリモートでの参加も数多くありました。



▶ 第24回定期総会での様子

ビジネスフォーラム

第10回ビジネス・フォーラムで「学問と人生—刑法学の旅路」を講演された日高義博氏は、昭和23年に油津に生まれ、佐土原で育ったことから、学問に宮崎人の感性が染み込んでいると話された。日高氏は、専修大学の学長、理事長を歴任され、現在、総長の職にある。法務省の司法試験考査委員や文科省の大学設置・学校法人審議会委員も長く務められた。理論と実務の両面を視野に入れ、かつ人の生き方を見据えた刑法学を説かれている。



第11回ビジネス・フォーラムは2022年11月28日に、冷や汁エバンジェリスト / さいころ株式会社代表取締役の日高大介氏（宮崎市出身）に「冷や汁の過去・現在・未来」と題してお話いただきました。日高氏は「冷や汁万歳 復権!」万能”の伝統食”を鉾脈社から共著出版され、冷や汁の普及に努めておられます。冷や汁の歴史・起源から、おしゃれで多彩な冷や汁の姿まで幅広く披露いただき、次回は料理実演もとの声が出るほど盛況でした。

第12回ビジネスフォーラムが2023年2月2日に、村岡隆明えびの市長を講師にお迎えして、港区六本木のハリウッド大学院大学にて行われました。

「人口減少時代における中山間地域の施策」を中心に、特に飯野高校を通じた町ぐるみの人材造りを、子供達と共に考え将来に向けて地域のリーダーを育成する新しい試みは刮目させられる画期的な取り組みです。宮崎を離れた我々東京在住者にとり、故郷宮崎の様々な進取の取り組みをうかがい経営者として大変参考になる講演でした。



宮崎県東京事務所の活動概況

宮崎県在京経営者会議の皆様には、日頃から宮崎県政の推進につきまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、東京事務所は、首都圏における宮崎県の総合窓口として、様々な業務に取り組んでおり、その活動をいくつか紹介させていただきます。

【国への提案・要望活動】

財政基盤の脆弱な本県においては、様々な課題に的確に対応し、更なる発展を図るため、県や市町村が国への提案・要望活動を行っています。

また、知事が令和2年11月に全国知事会地方税財政常任委員会委員長に就任したことから、全国知事会として実施する要望活動の調整も行っています。

【企業誘致】

首都圏から本県への企業誘致を目的として、対面やオンラインによる企業との面談を実施するとともに、展示会やマッチングイベントに参加し、本県のPRに取り組んでいます。また、月1回、立地企業など約150社に送信する「宮崎ひなたニュースレター」を通じた定期的な情報提供やテレワークの機運の高まりに伴うワーケーションの支援等も行っています。



企業との面談



企業立地イベント

【県の魅力発信】

本県の観光振興を図るため、東京モノレール、ソラシドエア、JR九州と連携したスタンプラリーの実施、旅行雑誌への消費量・購入頻度日本一の宮崎餃子と観光を絡めた記事の掲載、ゴルフ専門誌へのゴルフツーリズムWEB記事の掲載などに取り組んでいます。

また、本県の魅力を一人でも多くの方に知っていただくために、メディアやホームページ、SNSなど様々なツールを活用した情報発信を行っています。



【県産品の販路拡大】

首都圏の皆様にも県産農産物や加工品等の魅力を知っていただくために、まずは食べて知っていただくことを基本にホテルやレストラン、企業の社員食堂等と連携した宮崎メニューの提供等の各種フェアを開催しています。

また、百貨店や高質スーパー、量販店等における物産展も積極的に展開しながら、県産品の販路拡大やフェア等を通じた県の魅力発信に取り組んでいます。

さらに、農産物等の市場流通情報の収集や県産農産物の品質調査、小学生を対象とした食育活動、専門学校生を対象とした花育活動等を行っています。



ホテルメトロポリタン川崎の宮崎フェア



百貨店での宮崎フェア

東京事務所では、今後とも様々な活動を通じて宮崎県の発展に努めてまいります。

最後に、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。

※東京事務所 HP URL <https://www.mtokyo.jp/>

活動報告

◆宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会

「焼酎の会(第19回目)」が令和4年10月1日に六本木のハリウッド大学院大学にて開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり3年ぶりの開催となりましたが、約250名の県内外のみなさまにご参加いただき、宮崎の焼酎と宮崎牛や地頭鶏、県産野菜などの郷土料理を堪能していただける大盛況の会となりました。



◆首都圏でも「みやざき観光文化検定」

「サツマイモの収穫量が県内最多の市町村はどこか」(例題)——これまで延べ6000人以上が受検した「みやざき観光文化検定」試験(宮崎商工会議所主催)が昨年12月18日、東京でも行われた。

宮崎県在京経営者会議が協賛して、首都圏での試験会場(ハリウッドプラザ)を提供するようになって2年目。首都圏では今回は7人の受検者が1~3級の合格をめざした。

合格者には綾・大つり橋の無料通行券など盛沢山の「特典」が与えられる。今後は「ホームバウンド」事業の一環として、より魅力的な検定試験になるよう積極的に取り組んでいく考えです。

◆令和5年新年賀詞交歓会

令和5年1月27日(金)に六本木ヒルズのハリウッドプラザで開催されました。

今年はお来賓の宮崎県知事河野俊嗣様はご公務でご多用の中ご臨席賜りました。

当会に対して宮崎県への支援に対するお礼のお言葉をいただき、宮崎県のおかれている現状と今後の経済成長につながる取り組み等細かにご説明いただきました。

そして今回は在京宮崎懇話会の皆様の数多くのご参加があり、当会の会員ともども全員に各企業様の活動状況と自社PRを含めてスピーチをいただきました。今までコロナ禍で皆さん方と対面での交流の場がなかったが、今回は有意義な賀詞交歓会でした。

編集後記

様々なイベントが対面で復活開催、宮崎を愛してやまない皆様の笑顔をたくさん見ることができた1年でした。原稿を寄せてくださった皆様に心より御礼申し上げます。(広報部)